

広報

みあさ

わたしたちのむら

- 人口 1,587人
 - 男 775人
 - 女 812人
- 世帯数 437世帯
(56年2月1日現在)

No. 45

昭和56年2月20日発行

編集 北安曇郡美麻村役場総務課

印刷所 上水内郡小川村高府 西条印刷所

大 寒



(1月31日役場裏にて)

あたりは、一面白銀の世界。外へ出ると、肌がピリピリするほど寒く、思わず声を出してしまう。屋根には、一メートルもの長さのつららが下がっている。文字どおり大寒。ちなみに今朝の気温は、零下二〇度だった。

村の暦

(1月)

- 5日 仕事始め
- 10日 新農構推進協議会
- 14日 議会第1回全員協議会
水田利用再編対策協議会
- 16日 料理教室
- 21日 農業委員会
民生委員会
- 23日 教育委員会
- 25日 村民卓球大会
- 27日 月例出納監査
新農構推進員及び営農委員合同会議

(2月)

- 1日 村民スキー大会
- 2日 農村リーダー打合せ会
- 6日 豪雪災害調査関係官来村
- 15日 料理教室

豪雪にてんやわんや

県北西部を中心に年末年始にかけて降り続いた大雪は、本村にも大きな影響を与えました。

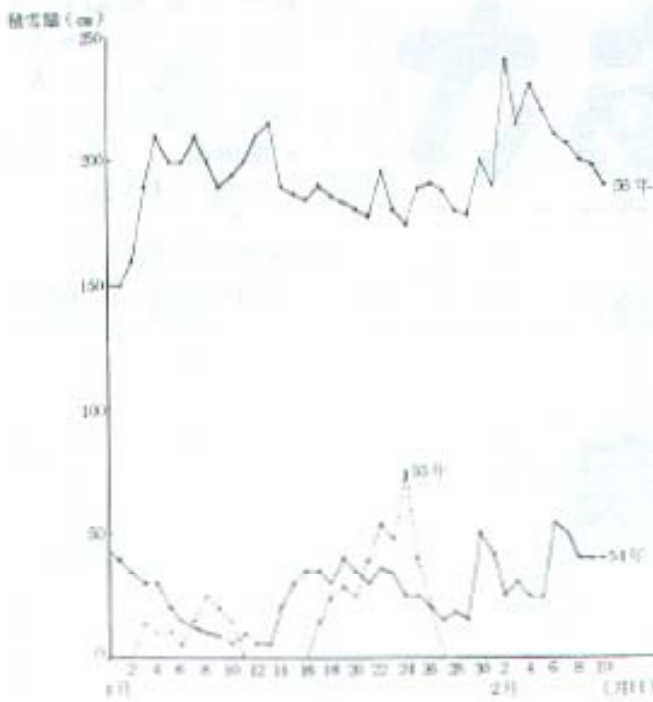
幸い、大きな災害はまぬがれましたが、住宅・農業用ハウス等の破損が村内のあちこちで見受けられ、村では各家庭に住家・物置・農業施設等の屋根の雪おとしをするよう呼びかけています。

この大雪に対して、村では昨年十二月二十九日に豪雪対策本部を設置し、二十九・三十・三十一日にかけて男子職員が全員出勤し、建設課及び村内建設業

者を中心として、村内の生活路線確保に全力を上げて対処しました。又、二月六日には豪雪災害調査



人の脊丈を越える屋根雪（1月9日権現にて）



行いました。

ところで、二月四日現在の村内の雪害状況(総務課調査による)をみると、住家一部破損：一〇棟、非住家の全・半壊：二三棟、農業用施設：一・二カ所、通信(有線)三カ所というところで、比較的構造のひ弱な農業施設の被害が目立っています。

なお、過去二年間のこの時期の積雪量と今年の積雪量を比較すると、次のグラフのようになり、一目でその違いがわかります。

二月中旬、陽ざしも強くなつたせいか、多少雪も触れやすくなつてきていますが、まだ大雪があるかもしれません。雪害には、十分気をつけましよう。

健康教室を開催します。

暮れから新年にかけての大雪で、例年だと食べては寝、飲んで寝の寝正月で過ごすところが、連日の雪かたづけで、大人も子供も、否応なしに身体を動かす事になりました。おしまいになってからは過労気味の所に風邪をひきこんで高熱・頭痛・咳に悩まされた人も多い事と思えます。

ストーブの燃え具合でいえば不完全燃焼になるのを予防できたといえましようか。江戸の川柳に「法眼は薬の中にまりを入れ」というのがあります。現代風にいえば「あなたは運動不足病だから、もっと生活の中にスポーツをとり入れなさい」といった意味だそうです。

健康づくり対策の一つとして、冬期間を利用して家庭健康教室を各地区で開催する事になりました。公民館で行う婦人学級と共催で、昨年に引き続き適切な栄養の摂取と高血圧予防のための調理実習、全地区にわたり味噌

汁の塩分測定を行います。

二月一日・八日に大塩・二重公民館でそれぞれ行いました。又後半は、二月二十二日青貝公民館、三月六日新行公民館、三月八日千見公民館の日程で行う予定です。講師には成人学級料理教室でおなじみの、伊東照恵先生をお願いしました。講義に続いてグループ毎に調理実習を行い、味噌汁についてアンケートと塩分測定を行います。当日は各地区の栄養指導補助員さんと食生活改善推進協議会々員の方に協力をお願いしてあります。一月一日、信毎紙上に発表された脳卒中死亡地図を御記憶で

ましようか。県内で北安曇は死亡率の高い地域になっております。佐久地方は減塩運動・全村健康管理実施により死亡率改善の著しい効果が上がっているということです。同時に発表された胃がん死亡地図では、塩分摂取や飲酒量が多く熱い食物をとるところに多い傾向があるので、はいかと推定されています。

高血圧・脳卒中は生活改善により予防できます。又、胃がんも早期発見により対策が可能です。健康な八十年代にむけて、家庭健康教室が何歩かの一步になる事を期待し、御協力をおねがいしたいと思います。

(保健婦)